**地域密着型サービス運営推進会議録（第５回）**

|  |  |
| --- | --- |
| 施設名 | 社会福祉法人　双葉会　高齢者グループホーム双壽園 |
| 施設種類 | 認知症対応型共同生活介護 |
| 開催日時 | 令和３年　１月　２５（月）（各運営推進委員に資料送付） |
| 会場 | 　新型コロナウイルス感染予防のため書面にて実地 |
| 参加者 | 利　用　者　代　表 | ０人 |
| 利用者家族代表 | １人 |
| 地域住民代表 | ３人 |
| 有識者 | 人 |
| 高齢者お世話センター | １人 |
| 市職員 | １人 |
| 事業者 | ２人 |
| 報告事項 | グループホームの運営状況について防災訓練報告、転倒事故防止対策について新型コロナウイルス感染予防対策について |
| 1．2．３． |
| 議　　題 | 1）グループホームの運営状況について報告する。１．現在の利用者状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　９名（男性1名　女性8名）平均年齢　8６．３歳

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 要介護度 | １ | ２ | ３ | ４ | ５ | 計 | 平均要介護度 |
| 人数 | ０ | ４ | ４ | ０ | １ | ９ | ２．７ |

　　　・平均要介護度変化なし　　　・9月末、転倒により大腿骨頚部骨折され入院されていた方が入院（リハビリ）が長引くとのことで退居・12月3日に男性1名が入居。　　　・12月1名の方が転倒され大腿骨転子部骨折となり入院されていたが、退院し現在当施設に戻られている。　　　・12月1名の方が胆のう炎手術のため入院され、1月中旬に退院し当施設にて、いつもの生活を取り戻されている。　　　・新型コロナウイルス感染者なし　　２．職員状況　　　・変わりなし　　　・新型コロナウイルス感染者なし２）防災訓練、転倒事故防止対策について報告　　１．防災訓練について　　　12月10日、日中を想定し避難誘導訓練、情報収集訓練、避難救助訓練を実地。入居者7名、職員4名が参加　　　13:30火災発生の声かけ、火災場所確認、消化、対策本部設置、　　　　　　消化失敗、避難呼びかけ、窓を閉める、各居室やトイレ・浴室などの確認、誘導、人数確認、防災グループラインで各事業所と連絡（避難人数・安否報告、情報交換）　　　　　　所要時間（約8分）　　　14:00地震発生（震度6を想定、30秒の振れ）　　　　　　机下に避難（頭部保護）、ブレーカー切断、避難口確保、対策本部設置、各居室やトイレ・浴室などの確認、誘導、負傷者の救済、人数確認、防災グループラインで各事業所と連絡（避難人数・安否の報告、情報交換）　　　　　　所要時間（約5分）　　　入居者人数も少なく、1階建てなので避難に時間もかからなかった。消防署から立地場所を考えると外へ出て非難するより施設内で待機した方が安全だと言われていることで、避難誘導にも時間がかからなかった。実際には、寝ている方、トイレ介助中の方、入浴介助中の方などを誘導となると何倍もの時間が必要になる。訓練に参加された入居者からは「訓練と思ってもなんやドキドキするな」との声が聞かれた。訓練しているから大丈夫ではなく、今起きたらどうするかを日頃から考えておくことが重要。　　２．転倒事故防止対策について　　　今年度は転倒事故が多発しており、昨年12月にも、大腿骨転子部骨折をする転倒事故があった。危機感を持って業務に取り組むように職員も務めているが、今年度2回目の夜間での転倒事故となり、職員の手薄な時間帯の対策を話し合い、センサーマットの設置を検討。　　　しかし、センサーマットが適応できない方もおられる。手足も自由に動かせ、夜間居室でゴソゴソされ、ポータブルトイレも置くことが出来ないため、センサーマットも片づけてしまう恐れがおおいにある。　　　＜とりあえずの対応として＞1. ドアの開く音や物音を察知したら、瞬時に付き添うことが出来るように行動する。

　　　　②後ろからの声かけは、ふらつく恐れがあるので後方から声を掛けないことを徹底したい。1. センサーマットを検討する。

　　　　（他の方の介助中には、瞬時に対応することは難しいが、上記内容で予防できればと考えている）３）新型コロナウイルス感染予防対策について報告　　　現在入居者、職員共に新型コロナウイルスの感染者はいない。＜当施設の対策として＞　　　・お正月の面会について、家族様も気を使って下さり、面会希望者もほとんどなかった。１家族については外から窓越しでの面会で対応。・職員については、家族と話し合い、県外から家族が帰省するなら、２週間ほど前から体調管理（毎日の検温）などしてもらうように、帰省してからもしばらく継続し検温するようにと指示を出し、できるだけ不要不急の外出を避けてもらう。　　・ワクチン接種までに、しばらくかかるかもしれない。手洗い、うがい、手指消毒、マスクの着用、３密禁、外出を控え、新型コロナウイルスに感染しないように努めたい。※第５回運営推進会議について今回の会議につきましても、新型コロナウイルス予防対策として、書面での開催とさせて頂きました。報告書については１月２５日、阿南市ながいき課、南部高齢者お世話センター、地域役員（３名）、家族代表（１名）に郵送しています。意見、質問などの問い合わせはありませんでした。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
|  |